



「平成26年8月丹波市豪雨災害義援金」にご協力をお願いします



ハートワさん

義援金名：平成26年8月丹波市豪雨災害義援金
口座番号：みなと銀行 本店営業部 普通1871585
口座名義：日本赤十字社兵庫県支部 支部長 井戸敏三
受付期間：平成27年3月31日(火)まで

その他：(1)みなと銀行の本支店間の窓口(ATM含む)による振込手数料は無料となります。(インターネットバンキング、ダイレクトバンキングを除く)
(2)所得税などの税控除を受ける際には、受領証が必要です。

義援金や受領証などについては、振興課までお問い合わせください。TEL: 078-241-8921 (直通)

◆お寄せいただいた義援金は、手数料などを一切いただきず、全額を被災された方々へお届けしています。



地域住民とともに、災害に備える

～姫路赤十字病院で災害拠点病院研修を開催～

2月14日、下手野自治会や姫路西消防署のご協力のもと、県内赤十字施設の職員や看護学生など約260人が参加し、大規模な地震発生に備えた災害拠点病院研修(訓練)が姫路赤十字病院にておこなわれました。

山崎断層帯を震源とする震度6強の地震発生を想定し、迅速な傷病者受け入れのため、治療の優先度をつけるトリアージや初動救護活動、応急処置、ヘリポートや院内への負傷者搬送、家族や報道への情報伝達などをおこなうとともに県内赤十字施設との連携も確認。傷病者役として参加くださった自治会の皆さんの演技も加わり、本番さながらの訓練となりました。

訓練後には、災害拠点病院としてのさらなる機能充実のため、問題点を検証し防災マニュアルなどの改善につなげてまいります。



迅速で適切な治療をおこなうためトリアージタグをもとに容体を確認中



外来診療科前の長椅子は、緊急時には診察台やストレッチャーに早変わり!!

講習のご案内

お問い合わせは、お電話またはホームページで

078-241-1499 (講習係)

救急法基礎講習

4/19(日)、5/9(土) 13:00~17:30

救急法基礎・救急員養成講習(3日間のセット)

5/10(日)・16(土)・17(日) 9:30~17:30(初日のみ13:00~)

水上安全法講習(プール講習)

5月の4日間で開催予定 9:00~17:00(最終日のみ14:00まで)

幼児安全法講習(2日間のセット)

5/22(金)・23(土) 9:30~17:30

健康生活支援講習(3日間のセット)

4/24(金)・25(土)・26(日) 10:00~15:30(最終日のみ16:00まで)

科目別講習 講習の一部のテーマを短時間で習得できます。

幼児安全法講習 こどもに起こりやすい事故の予防と手当について
4/11(土) 10:00~12:00

幼児安全法講習 乳幼児の一次救命処置(PBLS)
4/11(土) 13:00~15:00

健康生活支援講習 だれもが知っておきたい介護の基礎知識
5/24(日) 10:00~12:00

健康生活支援講習 認知症高齢者への対応・癒しのハンドケア
5/24(日) 13:00~15:00

◇申込期日は開催日(初日)の一カ月前までです。◇会場は日本赤十字社兵庫県支部です。

救急法ミニ講習会イベントのご報告

1月31日のイオンモール伊丹昆陽では、80の方がご参加くださいました。ありがとうございました。

ひょうごの赤十字

2015 3月
March

復興へ、まだまだ力を。
～活動資金にご協力をお願いします～



- 平成26年度第2回評議員会を開催
- 赤十字防災ボランティア総合訓練「災害対応力を身につけよう!!」を開催
- 青少年赤十字メンバーがガイドヘルプを体験
- 「丹波市豪雨災害義援金」にご協力をお願いします
- 地域住民とともに、災害に備える
- 講習のご案内

日本赤十字社 兵庫県支部
Japanese Red Cross Society

〒651-0073 神戸市中央区臨海海岸通1丁目4番5号



078-241-9889



赤十字 兵庫

検索



復興へ、まだまだ力を。

～活動資金にご協力をお願いします～

東日本大震災から4年。
被災地の復興への歩みは、まだまだ続きます。
苦しむ人がいる限り、苦しむ地域がある限り、日本赤十字社は、これからも復興支援活動を続けます。
一日も早い復興のために、皆さまの温かいご支援をよろしくお願いいたします。

郵便局・ゆうちょ銀行

口座記号番号:01110-0-1136
口座加入者名:日本赤十字社兵庫県支部
※窓口で取扱いの場合、振込手数料は無料です

銀行振込

銀行名:三井住友銀行
※お問い合わせ先まで「専用振込用紙」をご請求ください

《お問い合わせ先》

☎078-241-8921



復興へ、
まだまだ力を。

復興支援をはじめとした、日本赤十字社の活動に力を。
活動資金にご協力ください。

日本赤十字社 活動資金 検索



人間を救うのは、人間だ。 Our world. Your move.



平成26年度第2回評議員会を開催

2月18日、第2回評議員会が開催されました。
平成26年度事業報告に続き、平成27年度事業計画と平成27年度歳入歳出予算について審議がおこなわれ承認されました。
井戸支部長からは、「阪神・淡路大震災から20年を迎えた。災害救護活動は、日本赤十字社の大きな役割であり、昨年8月の丹波市豪雨災害でも、兵庫県支部では大きな被害を受けた被災地へ素早く救援物資をお届けした。また12月の海外たすけあいキャンペーンでは、県民の皆さんから多くのご協力をいただいた。総額1,500万円を超えるご協力に感謝を申しあげたい。現在、県立柏原病院と柏原赤十字病院の統合再編がスタートするとともに、懸案であった須磨診療所を移管する方向で作業を進めている。今年は支部創立125周年を迎えるため、一層のご指導ご協力をお願いしたい」と挨拶がありました。



挨拶する井戸支部長



赤十字防災ボランティア総合訓練「災害対応力を身につけよう!!」を開催

災害時に日本赤十字社の災害救護活動を支援する防災ボランティア。
災害時にいち早く被災地で活動がおこなえるよう、2月7日に淡路島の東浦サンパークで、赤十字奉仕団や防災ボランティアなど約100人が参加し総合訓練をおこないました。
訓練後には、来場者の皆さんに、包帯法や担架搬送体験、火おこしなど、いざというとき使える知識や技術を学んでいただきました。



子どもたちも夢中になった火おこし

訓練の内容

◆ ボランティアセンターの設置と運営

◆ 救援物資の搬送



多可赤十字救護倉庫から救援物資280セットを搬送

◆ 炊出し



淡路市赤十字奉仕団の皆さんによる600人分の豚汁の炊出し

◆ 救護所の設営



重量のある大型エアテントを息を合わせ設営

◆ 無線通信



被災地の状況やニーズなどの情報収集のため全国の無線赤十字奉仕団と交信



青少年赤十字メンバーがガイドヘルプを体験

青少年赤十字協議会例会では、今年度「健康・安全」をテーマに学び、そのまとめとして2月1日に視覚障がい者の方々をゲストに招き、三宮周辺でガイドヘルプ実習をおこないました。
障がい者と健常者の共生という観点から、互いに暮らしやすい街とはどんな街か、どのようにサポートをすべきなのかを考えることを目的に開催。
メンバーは、ガイド方法を学んだことはあるものの、視覚障がい者の方と実際に街を歩くのは初めてで、しっかりサポートできるのかと不安を抱えてのスタートでしたが、ゲストや赤十字ボランティアから気をつけるべきことを教わりながら、また、ゲストの明るく元気な人柄にも触れ、徐々に不安も解消されていたようです。案内後のグループワークでは、「耳からの情報やおいさがどれほど大切だった」「困っている人がいたら声をかけてあげたい」「今回の体験をこれから活かしていきたい」など、気づいたことや感想が聞かれました。
これで今年度の例会は最後となりましたが、メンバーたちの行動を見ていると、毎回しっかりと学んでくれたんだと感じました。



周囲の情報を伝えながら三宮を案内



ゲストから日常生活について話を聞くメンバー